

はじめに

(一社)建設コンサルタンツ協会近畿支部が主催する研究発表会は、昨年50回の大きな節目を迎え、今回は51回目という新たなスタートとなる年を迎えます。本研究発表会を通じて、建設コンサルタントの今後を担う学生の皆様には建設コンサルタントの仕事内容を深く知っていただける機会となるように、若手技術者には技術力を向上させる機会となるように、そしてこれまで以上に、建設コンサルタントの役割や魅力を、多くの人に知って頂ける機会になればと考えています。

研究発表の応募には、一般発表61編、若手技術者のポスター発表46編、学生発表13編、合計で120編と、昨年に引き続き多くの応募をいただき、ありがとうございました。発表者と参加者による積極的な議論が行われることを期待しております。

また、インフラメンテナンス研究委員会、ICT研究委員会、道路研究委員会からの報告や、自由集会として働き方研究委員会によるワールドカフェ、例年大好評のCM総選挙、歓談や交流の場として交流Cafeも引き続き開催します。有意義な技術や意見等の情報が得られる場になればと考えております。

特別講演は、午前の部と午後の部の2講演を行います。午前の部では、国土交通省近畿地方整備局の別木孝技術調整管理官をお迎えして、ご講演を頂きます。発注者としてのお立場から、昨今の社会経済情勢の中、建設コンサルタントを取り巻く情勢の変化について、貴重なお話が伺えることと思います。午後の部では、(一社)全日本建設技術協会 会長並びに(公社)土木学会第105代会長の大石久和様をお迎えし、ご講演を頂きます。大石会長からは、「経済成長なくして財政再建なし—インフラの正しい認識—」と題して、建設コンサルタントとは異なる立場のご意見について、貴重なお話を伺えるものと思いますので、是非ご来場ください。

結びにあたりまして、論文執筆者、特別講演を快くお引き受け頂きました皆様、審査委員の方々、研究発表会の準備に1年間もの時間を割いて頂いた研究発表委員会の皆様や近畿支部事務局の皆様、企画準備いただいた各委員会の皆様、その他ご協力を頂きました多くの関係者の方々に、心から厚く御礼を申し上げます。

平成30年7月

平成30年度研究発表委員会
委員長 加藤 巧也